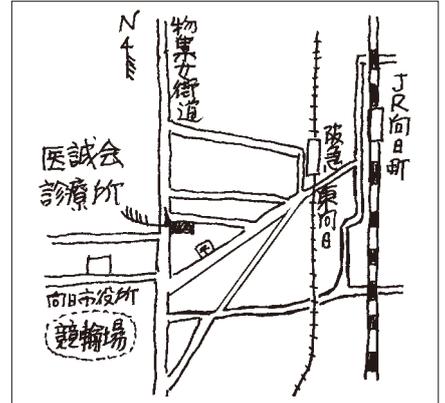


青い空

題字／蔡 東隆先生



ホームページ <http://www.otokuni-hcoop.com>
Eメール info@otokuni-hcoop.com



梅雨の晴れ間、久しぶりの植物園 (3向支部)

P.2~3 コロナ禍での工夫
P.5 配食サービス

医誠会診療所 診療体制表

		月	火	水	木	金	土
午前 (予約制) 9:00~12:30	1診	山西(内科)	山西(内科)	山西(内科)	山西(内科)	山西(内科)	山西(内科/第1-3-5週) 池原(内科/第2-4週)
	2診	大山(内科)	大山(内科)	大山(内科)	小林(整形外科)	大山(内科)	休診
午後		【往診】	【往診】	【往診】	【往診】	休診	休診
夜間 18:00~20:00		山西(内科)	休診	休診	大山(内科)	山西(内科)	休診

介護事業など

- ◆ 居宅介護支援事業所
- ◆ 通所リハビリテーション
- ◆ 訪問リハビリテーション
- ◆ 訪問看護ステーションにじ
- ◆ 訪問介護ステーション
- ◆ 配食サービス
- ◆ 健康づくり
- ◆ 介護予防運動教室

- 午前診療は予約の方を優先させていただきます
- 夜間診療は予約制ではありません
- 医療生活協同組合員さんを対象に、午前中のみ送迎サービスがあります。窓口で相談してください

お問い合わせ ☎ 921-0661

駐車場が十分ありません。ご協力をお願いします。

コロナ禍

みなさん こんな工夫を しています



長引くコロナ生活の中、人と会えない、出かけられない、「あれもダメこれもダメ」と息苦しい生活を強いられています。そんな中、みなさんいろいろな工夫をしています。

感せん予防

4 向支部 山口 莉央奈(11歳)

わたしは、コロナの感せん予防で、とくにマスクをしています。最初は、あんまりマスクになれていなかったけれども、学校や放課後などでつけていたら、外に行く時はかならずマスク！といえるくらいです。みなさん、外に行くときは、マスク。家に帰ったら手あらう、うがい、しょうどくをとっていきましょう。わたしはマスクをつけてあそんで

着物のリメイク

3 向支部 由良 緑(70歳)

コロナのため行事は中止、時間が余ったので着物のリメイクをした。おじ、おばの着物をほどこいてモンペ二本、上着一枚を作った。つぎはぎをして縫ってあるおばの着物は彼女の性分をよく表していた。おじの方は上等らしく、こちらもおじの思いが感じられた。百年とはなら

天王山歩きを

大山崎支部 山副スヘノ(79歳)

毎週一回天王山歩きを楽しみむグループにさせてもらっています。午前中2時間ほどですが、いろんな自然が楽しめます。5月の初め、野イチゴ食べ放題ウォーキング。木の音を歩いていくと、うぐいすの音が耳のすぐ傍に聞こえてきます。毎週行くので、鳴き始めのおぼつかない声から、しばらくすると、それはそれは上手な歌声になってきます。

賀茂川沿いの散歩

向陽東支部 新堀 悟史(72歳)

毎週日曜日は京都市北区の96歳の母親が住んでいる実家に帰っています。実家は賀茂川の土手下にあり、植物園の北山橋の近くです。最近帰りは賀茂川沿いに散歩しながら帰るようにしています。賀茂川沿いにはいろんな家族が見られます。親子で魚とりをしている家族。散歩して

ないが、五十年はたつ時に、彼、彼女の思いにふれられたのはよい機会だった。使い古されているが木綿のモンペは肌ざわり良く愛用している。

お手玉しよう！

長岡京支部 巽 愉美(80歳)

コロナ、コロナで家籠りをせざるをえない状況になって、家で一人遊びをするなら、子ども時代好きだったお手玉で遊ぼう、脳トレにもなるしーと思い立ち、でも周囲にお手玉は無い、母が小豆を入れて作ってくれたナア…と思いついても、作り方がわからない。でも手先の器用な友人がいます。彼女に教わって5個は作ろう！生来不器用な我指を叱咤激励して、目下チクチクしています。でき上がったら、お手玉に励みます。

コロナ禍での生活

5 向支部 宇城 典子(65歳)

コロナ禍も施設が開けば感染対策をしサークルに参加。再度の緊急事態宣言！今はそれも中止。辛うじてリモートでの会議・習い事・ヨガ・非接触の電話番号などは続けています。家時間が増える！すると動きが遅

くなる？外に出なくても暮らせる！これもいいかな？と易きに流れてしまいます。しかし、いつかは来るサークルの再開。以前のように動けるかが課題です。テレビを見ては旅行への夢を見、笑い、体のメンテナンスをしてその時を待っています。

頑張っていること

西京支部 幸 暁子(46歳)

ケアマネとして、新型・変異型コロナウイルスに感染した事業所のサービスを利用できず、代替えのサービスを調整することが増えてきた。私も感染しないよう一般的な感染予防対策の徹底と、外出は自宅・職場・スーパーのみ、家族との食事時間を分ける等が続いている。常に緊張感がある。しかし踏ん張るしかない。いつか誰もが安心して、家族と会うこと、外出する日が来るまで頑張るぞ。そうなったらタイ料理を食べに行きたい！

外出制限の中で

長岡京支部 寺田 卓司(83歳)

一人暮らしの老人が家にこもってくだらんテレビばかり見て居たら、楽しんで、食べて美味しく、畑に行くのが毎日の運動で、生活のリズムとなっています。もちろん暑い夏に毎日水やりをし、倒れないように支柱を立て肥料を工夫し虫対策や病気に悩んだり苦勞もいっぱいありません。鳥たちも食べにきますが、でもそれも楽しみです。

コロナ禍で思ったこと

6 向支部 森田 道子(90歳)

私は無理なく楽しみながら生活し、目標を立て実行することにしました。
一、健康維持「パワーリハビリ」に週二回通うこと
一、脳トレ「漢字検定問題(五級)」「二級」全問解くこと
一、手仕事を通して生活を楽しむこと(マスク百枚作る)
一年をふり振り返り目標に達しました。私には六十年近くおつき合いをしている仲間があり、あたたかく見守られ、励まされ、どれほど元気をいただいたことか。仲間の大切さを痛感し、感謝の一年でした。

毎朝一万歩

西京支部 森晋一(69歳)

コロナに感染したらもうおしまい。緊急事態宣言連発の菅総理のお言葉通りの自分の健康は自分で守る生活。1日3食しっかり食べる。夜9時就寝、朝4時起床の規則正しい生活。早朝ウォーキング1日1万歩。不要不急の外出はしない。手洗い・うがい・マスクで感染予防。待ちに待ったワクチン接種の案内。やっと来たワクチン接種券。簡単には取れない接種の予約。困った時には安心して相談に応じてもらえる乙訓医療生協があつてよかった。

天王山を熟知するリーダーは、休憩時に温かいコーヒーを淹れてくださいます。84歳とは思えない体力に驚き、感謝！

野菜づくり

2 向支部 小林 澄子(72歳)

楽しみは医療生協の園芸クラブでの野菜作りです。苗から育てて成長していく野菜たち、1日1日を見て

花の寄せ植え

向陽西支部 長 理恵子(69歳)

いる老夫婦やアベック。自転車でサイクリングしている親子。ランニングしている青年たち。昼寝している人等。心がなごみ、ほっこりします。元気がわいてきます。
京都市民医連中央病院緩和ケア病棟では、コロナ禍のため、ティーサービス、アロマテラピー、ミニコンサート、季節の行事全てのボランティア活動を休止しています。私はボランティアコーディネーターとして、患者さんに楽しんでいただくこと、病棟の庭に花の寄せ植えを置いたり、毎週届く花のアレンジメントをしています。厳しい医療状況の中で奮闘する医療従事者に感謝するとともに、一日も早くコロナ感染が終息して療養中の患者さんに憩いのひと時を過ごしていただけるボランティア活動が再開できるよう願っています。

理事会だより

4月理事会報告

報告事項 京都府生協連通常総会の代議員2名の確認、理事・監事推薦の人選、日本医療福祉生協連通常総会の代議員選出を確認しました。土地建物取得問題再検証委員会「中間報告」(案)と、診療所建設に関して寄せられている土地情報について、それぞれ担当理事より報告を受け、質疑応答を行いました。診療所管理部からは、4月23日に1回目の外来職員のコロナワクチンを接種したこと、診療所での高齢者の接種予約の詳細案内は5月15日以降に行うことなどの報告を受けました。

協議事項 第42回通常総代会の議案書の討議を集中して行いました。緊急事態宣言延長の場合に備えて、開催方法についても検討しました。

5月理事会報告

報告承認事項 管理者人事として、6月1日付で診療所事務長の交代(田中とみ子→上西良太)、田中専務

理事の6月20日付退職について確認しました。

常務理事会にて、次期役員選挙の立候補に当たり、役員選挙規約上、総代は立候補することができないことから、6人の総代より総代辞任願いが提出され、承認されました。これにより、総代総数は149人となりますが、総代会開催要件には抵触しないことを京都府消費者安全センターに確認済みであることも確認しました。

診療所管理部会議より起案された電動ベッド15万5千円、空調設備洗浄75万円を承認しました。

協議事項 20年度決算報告、決算監査報告、21年度4月経営結果についての意見交換、通常総代会議案書の最終確認など行いました。

第4号議案「2030年ビジョン(案)」については、今総代会では2030年ビジョン(案)として提案し、決定は(案)のままとして1年間かけて支部での討議を踏まえ、来年度に最終決定する扱いにすることを確認しました。

役員選挙委員会、役員報酬委員会より報告を受け、提案通り議案として確定しました。



組織部 水野 晃

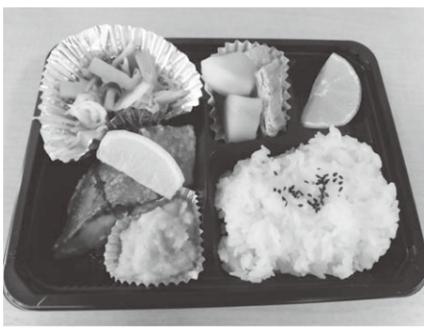
温かい配食弁当はいかがですか？

乙訓医療生協の配食サービスは、おひとり暮らしや高齢者のみの世帯など、食事の準備が難しい方に昼食

をお届けしています。作りたてで安心安全なお弁当を、毎週火曜・木曜・金曜(ご希望の曜日)のお昼にご利用いただけます。ご利用条件は次の①②③と◆に該当する方(当てはまらない場合でも、事情によっては考慮する場合もあります)

- ① 診療所から半径1・5 km以内(配達員の関係)に住んでいる
- ② 概ね65歳以上の方
- ③ 配達時(12時前から12時40分ごろの間)に必ず在宅している

◆ひとり暮らしの方
◆高齢者のみの世帯
◆昼食の時間帯にご家族が不在になられる方



ご利用料金は、1食550円+配達料50円です。

詳細は組織部までお問い合わせください。

配食の配達ボランティアさんも募集しています。

TEL.921-0667(組織部)

	月	火	水	木	金
昼食	×	○	×	○	○

2021年 乙訓・京都市の特定健康診査がはじまります

乙訓2市1町 2021年7月1日(木)~12月末まで

京都市 2021年4月~2022年3月末まで

③2021年は、乙訓2市1町の特定健診期間は12月末まで延長。

2021年の特定健診の特典として『医誠会ドック』も新たに8月から始めます。詳しくは、7月の「診療所だより」をご覧ください。



職員リレー⑤



介護部長 藤田育男

乙訓医療生協に入職して15年目になります。入職前は特養ホームとグループホームの介護職で7年間勤務していました。ケアマネジャーとして10年半仕事をさせて頂き、2017年に法人事務局に異動となり、現在に至ります。私の現在の仕事の主な内容は、法人内の6つの介護事業の法令遵守責任者としての全体管理や行政への届出、医師以外の職種の採用担当、診療所の建物や設備、パソコン等の機器全般の管理、送迎車・業務用バイク等の車両管理、診療所の防火管理者、医療・介護安全の管理業務、教育委員等、介護分野だけではなく、法人全体の色々な業務を担当しています。

介護事業においては、国による度重なる介護保険制度の改悪や深刻な人手不足により、非常に厳しい状況におかれています。しかし、私のこれまでの経験を通しての持論は、私達専門職は言うまでもなくご利用者のために仕事をしてお

り、このことがぶれることなく、ご利用者の立場に立ったご利用者にとって良い介護を提供し続けられ、必ず結果につながるということです。乙訓医療生協には、他の法人にはない医療生協・民医連ならではの理念と、働き続けられる労働条件があり、これは大きな強みです。理念を業務に活かせる職員集団作り(人づくり)を進めると、そして引き続き「地域で一番選ばれる事業所」を目指したいと思っています。

田中専務理事は、「全体管理者の役割は、時代を読み、進むべき方向を指し示し、職員の心に灯をともしこと」だと教えてくださいました。これができる管理者に少しでも近づけるよう自分に足りないものを学んで身に付けながら、1歩1歩努力して進むことが私の最大の課題であり、目標です。

次回は看護師長の、福井眞喜さんが登場予定です。

職員プロフィール

来て良かったと思ってもらえるリハビリに



看護師 吉田 裕吹さん

今年の3月中旬から、通所リハビリの非常勤看護師として、週に4日勤務しています。

子育て中は家庭中心の働き方をしたいと、個人医院などで勤め、空いた時間を使ってケアマネジャーの資格をとりました。その後、特別養護老人ホームやいくつかのデイサービス事業所を経て、医誠会へ。通所リハビリは初めてですが、さまざまな事業所で勤めた経験を生かし、また「利用者の方が、また来たい思ってくれたら」との思いから、積極的に改良点などの提案もしています。

高齢者と関わるのが好きで、いい仲間にも恵まれ、今も楽しく働いているとのこと。「働くことで、自分も必要とされているという実感や、そこからさらに何かを見つけた」というのが、今の願いです。(多田)



2向支部

近藤 健二さん(67)

人生、寄り道もプラス

58歳で教師生活を退いた後、長岡京にあるグループホーム「いろいろ」に週3回、掃除、洗たく、食事のお世話に通っています。また請われて年金者組合や医療生協でスマホ教室を開き、医療生協の健康まつりでは子どもたちに工作の楽しさを味わって貰おうと「工作コーナー」を担当、毎年大人気です。

もともとメカの研究が好きでビデオデッキやパソコンなど溜め込んだ機械や部品で部屋はいっぱい。修理を頼まれてもすぐに役立ちます。

頼まれれば断れない性格から今年より退職教職員互助組合の支部長を務めます。「若手の近藤さん頼みます」とお鉢が回ってきました。最近

発足した「住みよいまちづくりの会」の事務方、年金者組合の仕事と連日スケジュールがいっぱい。奥さんから「手を広げすぎ」と身体を心配しての警告を受けています。

子どもの頃から物を作って遊ぶのが好きで部品を組み立ててラジオ作りに夢中だった中学時代、高校生になると和紙に興味を持ち、小物づくりから財布やバッグづくりも。「何でもやってみよう」の精神は大人になっても衰えず、折り紙、パソコン、スマホ、そして旅行、映画と広がるばかりです。

右京区西院の生まれ。高校は電子工学が学びたくて洛陽工業高校へ。公害問題にふれ進路を変えて大学を出ると小学校の事務職に就きます。「先生は金と法律に弱い」とか言われていて、必要にも迫られ法律を勉強。後々、大いに役立ちました。

教師になろうと決意して通信制の大学に学び免許を取得、最初の赴任は希望して桃山養護学校でした。同僚の先生と結婚、



子どもができ通勤の不便さなどから乙訓地域を希望し以後乙訓の小学校に勤めました。丸っこい優しい顔、入学してくる小学生は得意の工作を取り入れての勉強に大喜びでした。

退職後は家族と世界各地の旅行を楽しみ、マチュピチュ、イグアスの滝、ロシアやスペインの美術館巡りと地球を歩き回っています。映画が大好きで「年間100本以上は見る」にはびっくりです。映画に合わせて日程を組むほどとか。

「歩いてきた人生、寄り道も多かったけれどそれもプラスになっていると思います」とにっこり。(清原)

編集 雑感

コロナ禍がもう一年以上も続いていきます。この間感染のピークは何度もあり、ピークが来れば、政府は国民に自粛自粛と繰り返すばかり。

PCR検査も増やすと言いながら現実はずえ、病床も増やすどころか、削減法案を出してくる。

大阪の知事は、雨合羽やインジンなど勝手なことを言ってもその反省はなく、公立病院や保健所を廃止し、医者にかかれず亡くなる人が続出してもお詫びの言葉はありません。テレビは彼の自粛の願いをたれながらだけ。

『青い空』の今号では、コロナ禍を乗り切るための皆さんの様々な工夫をとり上げました。

安全・安心なオリンピックと云う前に、国民が安全で安心な日常生活を過ごせるようにすることが、いま政府の最優先ですべきことでしょう。

(鈴木)

乙訓医療生活協同組合

〒617-0002

京都府向日市寺戸町殿長37番地 TEL・FAX 075 (921) 0667

こんな場合にはご連絡ください

*転居した、電話番号を変更した、同居家族が変わった時
*組合員証を紛失してしまった時 *退会される時

発行責任者
上西 良太

組合員総数 6,377人

出資金総額 214,381千円

(2021年6月1日現在)